

Q5. Q4で選んだ手法を現在の業務に取り込むときに、難しいと考えることは何ですか？
2つまで選択してください。

- 1 現在の業務が忙しく、新しいことに手をつけることができない
- 2 組織内(院長や施設管理者)の理解が得られない
- 3 組織の職員の理解が得られない
- 4 行政(市)の方針等が不明瞭なため進められない
- 5 他の組織(団体)の動向がわからないと決められない

Q6. Q5で選んだ項目を解決する場合、どのような方法が有効だと思いますか？
2つまで選択してください。

- 1 統一のルール・ツールを、市内の医療機関や事業所全体で合意する
- 2 取り組んでいる医療機関や事業所を市のホームページなどで随時公開する
- 3 地域の研修会や職能団体の勉強会などで、実際の取組み事例などを繰り返し伝達する
- 4 統一のルール・ツールを各医療機関や事業所の業務マニュアルに反映する
- 5 取り組んでいない医療機関や事業所の管理者等に対し、行政から強く協力を求める

〔Q7 連携の不具合による悪影響や支障〕

Q7. 医療・介護連携において、情報伝達がうまくいかないことによって、業務上支障が生じていますか？
1つ選択してください。

- 1 悪影響や業務上の支障は生じていない
- 2 個々の職員の努力により、患者・利用者への支援・療養に支障は出ていない
- 3 個々の職員が努力しているが、患者・利用者への支援・療養にやや支障が生じている
- 4 個々の職員が努力しているが、患者・利用者への支援・療養に支障が出ている

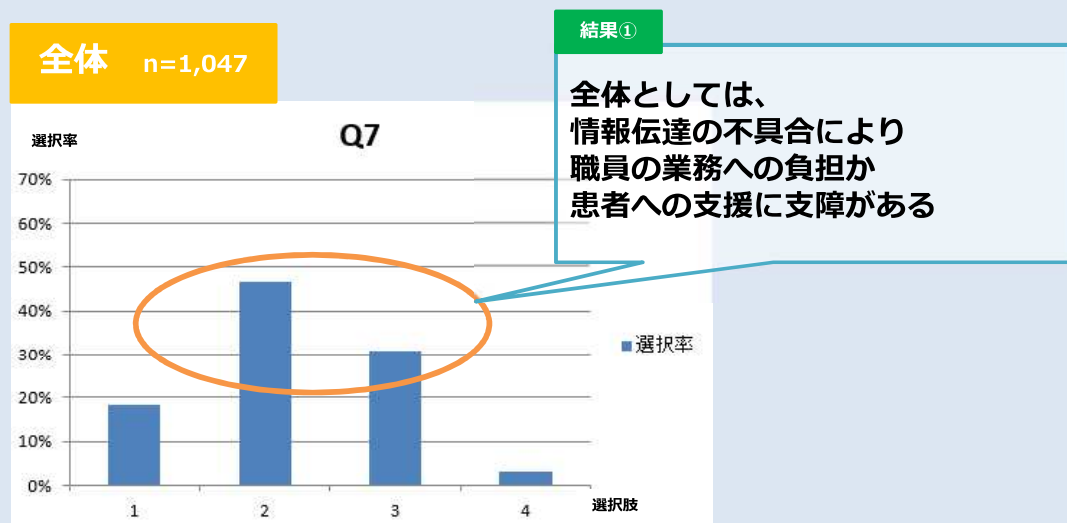
参考：救急告示病院、その他の病院、診療所、訪問看護、CM、統括 n=1,047

結果

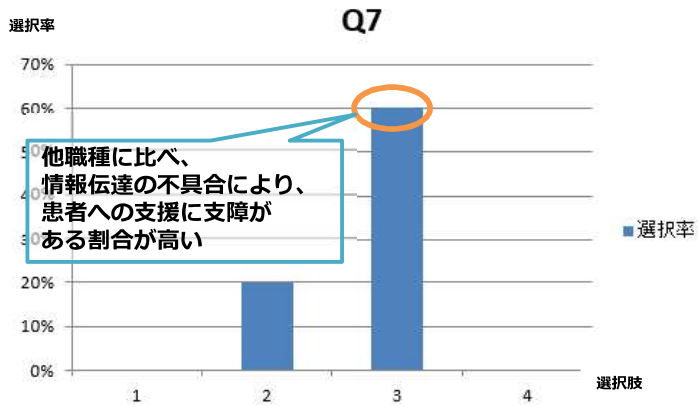
〔Q7 連携の不具合による悪影響や支障〕

①情報伝達の不具合により、

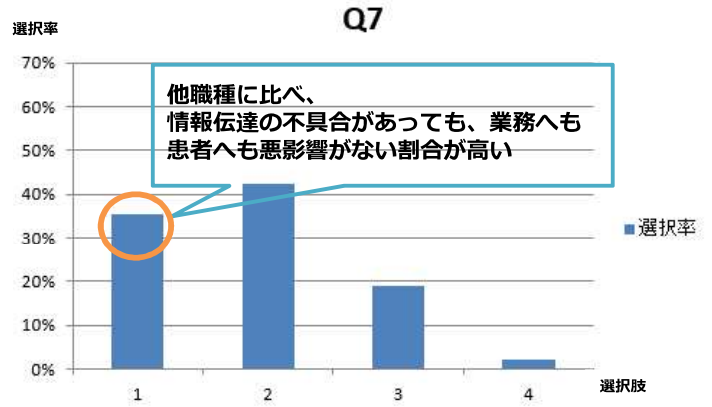
「職員の業務」か「患者への支援」のいずれかに負担又は支障が出ている
と感じる職種が大半だった。



歯科医師 n=5



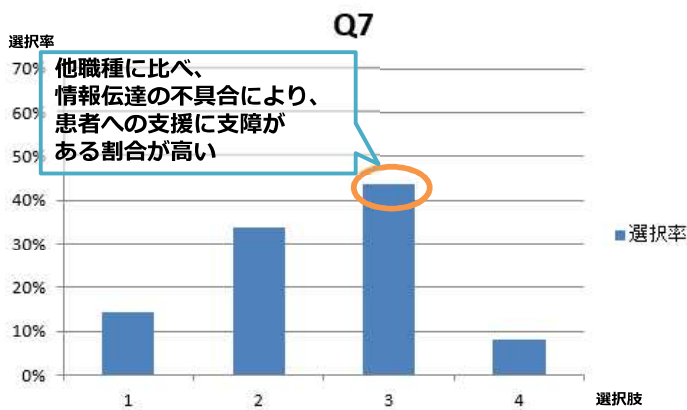
薬局 n=90



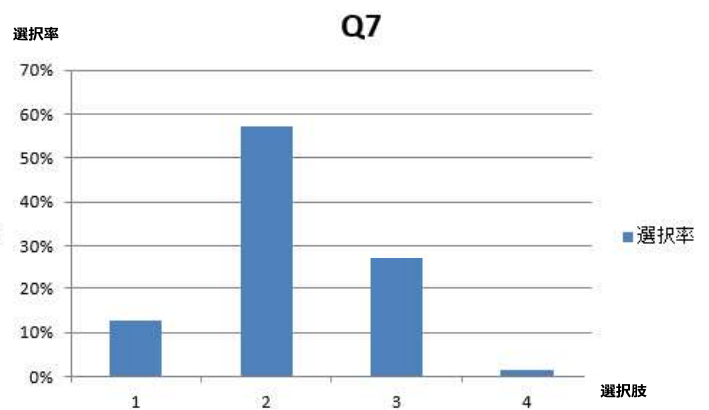
OT,PT n=94



介護老人保健施設 n=62



特別養護老人ホーム n=63



※前のページの全体(n=1,047)には含まれていません。